# 下請セーフティネット債務保証を拡充

## 民間工事も前倒し実施　国交省が対象を追加

## 直轄1000万円未満の工事等

国土交通省は、下請セーフティネット債務保証事業の制度を改正し、直轄工事での実施対象を、請負金額1000万円未満の工事まで拡大するなど、制度を拡充することにした。18日付けで各地方整備局に通達したほか、関係省庁、公団・事業団や地方公共団体、建設業団体、金融機関にも通知している。

合わせて、14年度の補正予算で要望している民間発注工事への事業対象の拡大についても、現行の枠組み上で前倒しして実施する。いずれも18日から適用している。

下請セーフティネット債務保証事業は、未完成工事請負代金債権を担保に債務保証を得て低利な融資を受けるもので、中小・中堅の元請け業者の資金調達円滑化と下請け業者への代金支払いの早期化を目指している。

国土交通省では、資金調達需要が増加する年末に合わせ、同事業の拡充を決定。事業を実際に行う建設業振興基金も、業務方法書の関係部分を改正した。

直轄工事では、従来の制度で対象となっていなかった①工事請負金額1000万円未満の工事②中間前払い・部分払いが行われた工事③完成工事―も対象化する。直轄工事では1000万円未満の工事は少なく、工事完成後の代金も数週間で支払われる場合がほとんどで、直接関係するものは少ないが、国土交通省では、地方公共団体などがこの取り組みを参考に事業対象を拡大することで、大きな効果を発揮することに期待している。

保証事業の民間工事への拡充は、100億円の基金で4000億円規模の債務保証枠を設定している現行制度の保証対象に、公共工事のほかに、電気やガス、鉄道、電気通信などの「社会の効用を高める施設」の工事も加える。

14年度の補正予算では、国費ベースで25億円の基金を積み増して、1000億円程度の債務保証枠を民間工事向けに別途設定することを要望。今回の制度拡充は、補正予算成立までの「つなぎ」的なもので、補正予算が成立すれば、4000億円の保証枠はこれまでと同様に公共工事向けとなる。また、民間保証枠が確保されれば、民間工事の対象を病院や学校、社会福祉施設などにも拡大する方針で、今後、民間発注者に対する制度活用に向けた施策も検討していく考えだ。

# 国交省が性能評価機関指定

## 既存住宅性能表示制度スタート

国土交通省は、既存住宅の性能を評価する指定住宅性能評価機関として17機関を17日付けで指定した。これにより、既存住宅の性能表示制度が実質的にスタートした。

既存住宅の性能表示制度は、既存ストックの売買、リフォーム、維持管理の円滑化などを目指し、今年8月に住宅品確法の施行規則と基準を改正して導入。すべての既存戸建て・共同住宅を対象に、目視による壁や床、天井などの部位別の現況を検査して客観的に評価。腐朽や蟻害の現状についても別途評価を可能とするほか、構造の安定や空気環境、高齢者への配慮といった新築住宅と同様の個別性能の評価も選択により実施できる。

評価するのは、既に制度を進めている新築住宅と同じく、品確法に基づく指定住宅性能評価機関の評価員で、8月下旬から既存住宅に対応した評価員の講習会を実施。講習を受けた評価員を有する機関の申請を踏まえて国土交通省が審査し、指定住宅性能評価機関として指定する。

今回指定したのは17機関で、このうち13機関が既に新築の指定住宅性能評価機関として業務を実施。残る4機関が今回新規に指定を受けた機関で、新築の評価も行う。既存の新築指定評価機関は84機関あり、これらの半数以上は既存評価を行う考えを持っているため、国土交通省では、各機関の申請に応じて審査し、今後も順次指定を進めていく方針だ。

# 公共工事電子契約推進検討会

## 年度内電子契約の方向性

国土交通省はこのほど、公共工事の電子契約の推進を目指した検討会（座長・須藤修東大教授）の初会合を開いた。15年度からの実証実験開始を踏まえ、年度内をめどに電子契約を円滑化する課題などを整理して、方向性を示したい考えだ。

国土交通省のCALS／EC（公共事業支援統合情報システム）アクションプログラムでは、15年度に電子契約の実証実験を行い、16年度から電子契約を実施するとしている。検討会は、このスケジュールを踏まえ、電子契約についての基本的な課題や問題点を把握し、実現の方向性を検討する勉強会的な位置付け。

電子契約の実現に向けた検討は高度で専門的、かつ作業量も多いことから、実作業を行うワーキンググループを設置する。しかしワーキンググループのメンバーや初会合の時期は今のところ未定。

検討会の初会合では「契約→前払い→部分払い→完成払い」といった電子契約の範囲について、当面は「契約」と「契約変更」のみとし、CI―NET（建設産業情報化ネットワーク）による民間の電子商取引システムとの関係など、さまざまな面からの課題や問題を抽出した。2月に予定している次回会合で、課題の解決策や契約を円滑に推進する施策を議論、年度末の会合で公共工事での電子契約の方向性を示す考えだ。

# 住宅性能等級実態等調査

## 制度前より性能向上

国土交通省は17日、住宅性能表示制度による建設住宅性能評価書の交付を受けた新築住宅と、制度以前の一般的な新築住宅との性能を比較した「性能等級の実態等調査」の結果をまとめた。戸建て・共同住宅ともに、制度導入前の住宅より一般的に性能が高い結果となり、国土交通省では、性能の良い住宅が評価を受けている可能性が高いことに触れながらも「良い住宅の整備を誘導できている」と評価した。

住宅生産団体連合会と住宅保証機構、不動産協会の協力を得て、制度導入直前に竣工した一戸建て100戸と中高層分譲共同住宅100棟の各棟から1戸を抽出し、耐震、耐風、感知警報装置設置、耐火、劣化対策、維持管理対策、省エネルギー、ホルムアルデヒド放散、透過損失（共同住宅のみ）、高齢者等配慮―の各性能について、住宅性能評価調査を仮想的に実施して性能を評価。12年10月の表示制度開始から14年3月までに交付した性能評価書の実際のデータによる集計・分析結果と比較した。

これによると、一戸建て・共同住宅ともに、耐震、耐風、劣化対策、維持管理対策、ホルムアルデヒド放散、高齢者等配慮で、性能評価書の交付を受けた住宅の性能が高い。ただし、一戸建て住宅で、評価書交付住宅の耐火性能の評価が従前の住宅より低く、共同住宅で、戸外の騒音の影響についての「透過損失」の性能が従前より低い結果となった。国土交通省では、これらの結果は、防火地域や準防火地域といった物件の立地条件によって求められる性能が変わるため、実際の評価結果が低いことを意味するものではないとしている。

## 第6回環境レポート大賞

# 大成建設などが受賞

地球・人間環境フォーラムなどが主催し、環境省が後援する「第6回環境レポート大賞」の受賞作品が決まった。建設関係では、大成建設の「大成建設環境報告書2002」が業種別奨励賞を受賞した。大賞には、松下電器産業の「松下電器グループ　環境報告書2002」が選ばれた。

環境レポート大賞は、優れた環境報告書などを表彰することにより、事業者の自主的な環境保全の取り組みを推進する目的で平成9年から実施している。

今回は、293点の応募作品の中から、環境報告書部門で大賞（環境大臣賞）1点、環境報告マイスター賞2点、優秀賞11点、環境報告奨励賞3点、業種別奨励賞3点などを選んだ。

業種別奨励賞を受賞した大成建設の「大成建設環境報告書2002」は、▽建設業が環境に与える負荷を認識した上で、それに対応しようとする姿勢が随所に見られる点▽環境への取り組みを計画、設計、施工、運用、解体のプロセス別に図解するなど読み手を意識し分かりやすく説明している点―などが評価された。

## 本社来訪

加世田修氏（県生コンクリート工業組合専務理事）＝業務連絡▽桑水流正周氏（日本ガス㈱天然ガス転換センター推進グループ計画運営チーム広報担当係長）森洋見氏（同計画運営マネージャー）＝天然ガス転換作業完了挨拶

## きょうの天気

| 地方 | 天気 | 風 | 降水確率 |
|---|---|---|---|
| 薩摩 | 雨所雷伴う曇 夕方から | 東やや強くのち北東強く | 80％ / 60％ |
| 大隅 | 雨所雷伴う曇 夜 | 東やや強くのち北東強く | 80％ / 60％ |
| 種子屋久 | 雨所雷伴い一時激降る曇 夜 | 南東やや強くのち北東強く | 90％ / 70％ |
| 奄美 | 雨所雷伴う曇 夜 | 南のち北 共やや強く | 60％ / 60％ |

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

## 週間天気予報

| 日 | 曜 | 鹿児島・種子・屋久地方 天気 | 降水確率 | 気温 | 奄美地方 天気 | 降水確率 | 気温 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | 金 | 後 | 60% | 16° 8° | 時々 | 70% | 22° 17° |
| 21 | 土 | 時々 | 60% | 19° 12° | 時々 | 60% | 23° 16° |
| 22 | 日 | 時々 | 30% | 19° 13° | 時々 | 30% | 22° 18° |
| 23 | 月 | | 40% | 16° 10° | | 40% | 21° 16° |
| 24 | 火 | | 40% | 13° 7° | | 40% | 19° 15° |

《概況》向こう一週間は、19日から21日にかけて低気圧や前線の影響で雨が降る。その後は曇りの日が多い。

## 行政動静

12月19日（木）

【県庁】
- 知事……出張
- 副知事……午前在庁、午後出張
- 土木部長……午前在庁、午後出張

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……在庁
- 田中副所長……午前在庁、午後庁外
- 喜多川副所長…在庁

【川内川工事事務所】
- 所長……庁外

【大隅工事事務所】
- 所長……庁外

【鹿児島港湾空港工事事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

【志布志港湾工事事務所】
- 所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。